

合同企業説明会へのバスツアー

代表者 渡邊 裕子 (経済学部経済学科 3 年)

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は平成 21 年 3 月卒業予定の学生を対象とした合同企業説明会(大阪)へのバスツアーを計画し、学生たちの就職に対する意識向上と就職活動における経済的援助を目的としたものです。

参加したのは、平成 19 年 11 月 27 日に開催された株式会社毎日コミュニケーションズ主催、大阪の京セラドームでの合同企業説明会でした。学生の募集に関しては、各学部の掲示板・就職支援室前の掲示板等にポスターの掲示を行ったり、各種就職ガイダンス中に告知活動を行ったりして周知させていきました。参加申し込みに関しても就職支援室のみではなく、本学以外の学生も参加しやすいように各学部の学務係に協力していただき窓口を設置しました。

学生たちの就職に対する意識の向上として、大規模な合同企業説明会に早期から参加することにより、大阪で多くの就職活動生・企業の人事の方たちに触れ合い、情報収集を積極的に行っていく場の提供を行いました。特に大阪の学生との交流は地方の就職活動生の活動開始時期の出遅れをカバーするよい機会になったと思います。

学生の就職活動における経済的援助として、1 人当たり大阪まで往復で約 6,000 円の交通費を必要とするところを、参加学生の参加費とプロジェクトからの援助金でバスを貸し切ることにより 1 人当たり往復 2,000 円で参加を可能にしました。これにより、まだあまり就職に関して考えを持っていない学生にとっても気軽に参加しやすいものになったと思います。

2. 実施スケジュール

| | | |
|---------|------------|--------------------------|
| 平成 19 年 | 1 1 月上旬 | ポスター等による広報活動 参加申し込み開始 |
| | 1 1 月 20 日 | 参加申し込み締め切り |
| | 1 1 月 27 日 | バスツアー開催 |

3. 成果の内容及びその分析・評価等

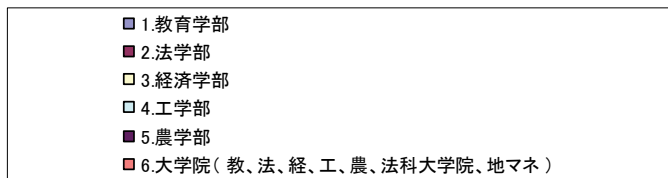
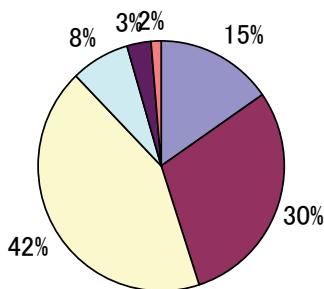
今回のバスツアー参加申し込みの受付に関しては前述にもあるように就職支援室、農学部・工学部の各学務の就職担当者に依頼し、計 3 ヶ所での参加申し込みの受付を行いました。広報活動に関しては各掲示板にポスターを貼り、各種就職ガイダンスの際には告知活動を行っていきました。計画当初

は定員を 120 名に設定し、45 人乗りのバスを 3 台貸し切る予定でした。しかし広報の結果、締め切り一週間前には定員 120 名を超え、十数名がキャンセル待ちという状況となったため、急遽定員を 160 名に増員し、より多くの学生の参加を募りました。最終的には 160 名の学生がバスツアーに参加することとなりましたが、まだ数名がキャンセル待ちという状況での実施となりました。

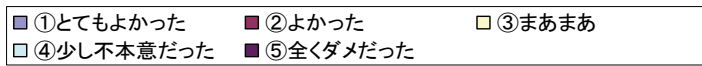
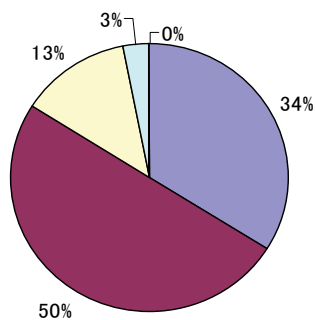
費用の面に関しては、プロジェクトからの援助金のみでは開催費用をまかなうことが不可能であったため、参加学生から 1 人当たり 2,000 円を徴収しました。バス会社の決定に関しては学校側に依頼し、バス会社を選考した結果、大川バスに決定し、45 人乗りバスを 4 台貸し切り開催しました。

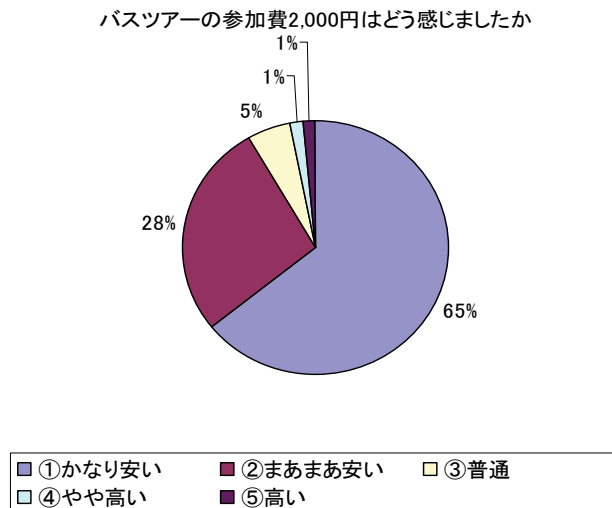
また下記のアンケート結果の一部から、私たち香川大学経済学部ゼミナール連合協議会の対象学生が経済学部のため、参加学生も経済学部・法学部に偏っているのが分かります。就職・進学の関係もあるとは思いますが、他学部の学生(特に本学以外)の参加人数を増やしていきたいと思えます。参加学生からの評価に関しては、84%が「とてもよかった」・「よかった」と回答しており、参加学生から高い評価を得ることができたと考えられます。費用の面に関しても、参加学生の 97%が「かなり安い」・「まあまあ安い」と回答しており、そのような面からも目的であった就職活動における経済的援助を行うことができたと考えられます。

学部・専攻はどちらですか



総合的に見て、参加してよかったと思えますか





4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

2,000円という安い価格設定のため、昨年度開催した同様のバスツアーの参加人数に比べて、今年度は多くの学生からの参加申し込みがありました。今回の京セラドームのような大規模な合同企業説明会に参加することにより、就職活動に必要な情報収集だけではなく、多くの就職活動生・企業の人事の方たちと触れ合うことにより、参加学生の意識の向上につながっていったと考えられます。このように学生たちの就職活動への意識を向上させることにより、就職活動に対し前向きな姿勢となり、就職率の上昇・就職職種の拡大等につながり、結果出口の拡大を図ろうとしている大学側にはプラスの影響が与えられると考えられます。

また合同企業説明会に参加していた企業に対しても、大阪周辺の学生だけでなく地方の大学の学生にも目を向かせる機会作りにもなったと思います。そのような点に関しても大学側・学生の両方にとってプラスの影響と言えると思います。

学生に関しても今後の就職活動を行っていく上で情報交換の場、経済的負担の軽減などのプラスの影響を与えることができたと思います。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

今回のバスツアーの主催者である私たち香川大学経済学部ゼミナール連合協議会は3年生が中心となっている団体です。そのためメンバーは自分自身の就職活動と並行して企画・運営を行っていきます。そのため、私たちにも参加学生と同様のプラスの影響が与えられたと思います。さらにバスツアーを運営していく中で計画力、リーダーシップ等今後社会に出てから必要となってくる能力を身につけることができたと思います。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

アンケートを行った結果、私たち主催者側と学生側に情報の行き違いが起こっていることが分かりました。ポスターの表示に関してもこちらの意図が伝わりにくく、今後は詳しく正しい情報が伝わるように記載していきたいと思います。

また運営に関しては、株式会社毎日コミュニケーションズの担当の方との打ち合わせが十分に行われておらず、会場に入場する時間が5分程度の遅れが出てしまいました。当日の香川大学担当者との打ち合わせがなく、間に広島支社の方を挟む形での打ち合わせとなってしまったために十分な意思疎通を図ることができなかつたためだと思われます。今後は文章化したものを株式会社毎日コミュニケーションズの方に提出するなどの対策をとって意思疎通を行っていきたいと思います。

7. 実施メンバー

| | | |
|-----|-----------------|-----------------|
| 代表者 | 渡邊 裕子 (経済学部 3年) | |
| 構成員 | 栗 和雅 (経済学部 3年) | 間島 明子 (経済学部 3年) |
| | 渡邊 春子 (経済学部 3年) | 松本 咲貴 (経済学部 3年) |
| | 森永 衣理 (経済学部 3年) | 森岡 慎平 (経済学部 3年) |
| | 松井 宏樹 (経済学部 3年) | 安井 大志 (経済学部 1年) |
| | 川上 深布 (経済学部 1年) | |